

**CASBEE-広島 (2010年ver.1)**  
**コストコホールセール広島倉庫店**

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.34</b>					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.3</b>	0.15					<b>2.3</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.68					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
2 騒音対策								
<b>1.2 遮音</b>		-	-					
1 開口部遮音性能		-	-					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.32					
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.1</b>	0.35					<b>2.1</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>2.5</b>	0.50					
1 室温設定		3.0	0.42					
2 室温変動の抑制								
3 外皮性能		1.0	0.22					
4 ゾーン別制御性		3.0	0.36					
5 負荷・設備制御								
6 個別制御								
7 空調の全室に対する配慮								
8 設備の効率								
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20					
<b>2.3 空調方式</b>		<b>1.0</b>	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>4.0</b>	0.25					<b>4.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>5.0</b>	0.52					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備	フードサービスコーナー他に昼光利用設備(採光屋根)がある。	5.0	1.00					
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-					
1 グレア対策								
2 昼光制御		-	-					
<b>3.3 照度</b>		-	-					
1 照度		-	-					
2 照度対策								
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.48					
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.8</b>	0.25					<b>3.8</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>4.0</b>	0.50					
1 化学汚染物質	全面的にF☆☆☆☆採用。	4.0	1.00					
2 化学汚染物質								
3 化学汚染物質								
<b>4.2 換気</b>		<b>3.5</b>	0.30					
1 換気量	建築基準法、建築物衛生法の1.2倍の換気量	4.0	0.50					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4 換気設備								
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙。	5.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>					<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40					<b>3.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.52					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.0</b>	0.36					
1 広さ感・景観	売場天井高=6.7m>3.6m	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.12					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.31					<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	耐用年数が短くなる系統にSUSダクトを採用	4.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種のうち2種以上にC以上を使用。	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23					

2.4 信頼性			3.3	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	非常用発電機+浸水の恐れがない。	3.6	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	通信手段の多様化+浸水の危険性がない。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.5	0.29			3.5
3.1 空間のゆとり			3.8	0.31			
1	階高のゆとり		3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.05<0.1	5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり		物販部荷重:レベル5、駐車場荷重:レベル4 面積按分よりレベル4	4.0	0.31			
3.3 設備の更新性			3.0	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36			2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.6
LR1 エネルギー			-	0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制		PAL低減率=22%	4.0	0.12			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.25			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		高効率機器の採用、LED照明の採用 ERR=50.9	5.0	0.38			5.0
4 効率的運用			3.0	0.25			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.4
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型機器	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63			3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	木毛セメント板、消火器	4.0	0.21			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材	4.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤	スプリンクラー+泡消火+移動式粉末消火 ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33			
2	断熱材	発泡断熱材の使用なし	5.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して63%	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	適切量の駐車駐輪台数 ゴミ搬出車両スペースの確保	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照障害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			